



昭和ホームでは、新年会が開催され「福笑い」や「かるた大会」で盛り上がりました。福笑いでは自分が作った「おかめ」や「ひょっとこ」に爆笑され、また、かるた大会では、いち早く見つけた札を取り誰が一番取ったか競い合っておられました。

令和2年 1月8日 デイサービス～新春福笑い～

年初めのレクリエーションは新春福笑い。出来上がった「おかめ」や「ひょっとこ」に大笑い。皆様にとってよりよい一年となりますように。



昭和村は冬期間、積雪が多く（今年は浅雪）窓からの眺めは雪ばかり、ご利用者の皆様もしっと春を待つ様子がうかがえ、ストレス溜まらなければ...と心配です。そこで、真冬の運動会を毎年開催しています。この日ばかりは、本館・ユニット館関係なく昭和ホーム全ご利用者が一堂に会し、本館食堂にて、玉転がし・パン食い競争・玉入れの競技を紅白に分かれて各競技を行いました。（パン食い競争は個人戦です）



今年は、初めて引き分けで終了しました。ご利用者の皆様、お疲れ様でした。今年も楽しんで頂けましたか？

※300枚を超える写真の中から厳選した16枚を掲載させていただきました。（広報委員会）

3月3日 ひなまつり ～昭和ホーム（本館）～

2月25日にお雛さまの飾りをしました。職員が準備を進めていると、お雛さまの周りにはご利用者が自然と集まって「お雛さま飾んのがよ。きれいだな〜」とお話されていました。きれいに飾れたあとは、お雛さまの隣で一緒に写真を撮りました。「一緒に写真を撮りたかった」と、とても言ばれていました。



～ひな祭りでおやつ作り～

3月3日のひな祭りにちなんで、桜餅を皆さんと一緒に作りました。出来上がった桜餅を頬張り、「家でも作ってみたいわあ。」「自分で作ったのはやっぱり美味しい。」と笑みがこぼれています。



～新型コロナウイルスについての医療勉強会～ 2020/03/06 すみれ荘健康相談室に於いて

3月6日(金) 17:30～ 昭和村国保診療所 所長 今井先生に、世界的に感染拡大し対応に追われている新型コロナウイルス感染症についての医療勉強会を実施していただきました。この感染症は、持病を持っている高齢者が感染すると特に重篤化しやすいとのことで、昭和ホームやデイサービスなど高齢者福祉施設は特に注意が必要とされています。昭和福祉会においても、職員が施設内に持ち込まないこと、媒介しないこと、絶対にご利用者に感染させてはいけないことを全職員が認識し、何としても防止しなければいけないと考えております。高齢者介護施設における感染対策マニュアルに沿って、基本の手洗い、手指消毒、咳エチケット等でのウイルスの感染予防に努めていきたいと思います。

※勉強会ではマスク着用を基本とし、始まりと終わりにアルコールで手指消毒を実施、濃厚接触を避けるため、隣の人との間に十分なスペースを取り対応しました。

